

令和 5（2023）年度 機械システム工学科 新カリキュラムスタート

令和 5（2023）年度から、機械システム工学科は「座学と実習を通して機械工学の基礎を確実に修得させるとともに、資格で裏付けすることにより地域企業の発展に結びつける」を新たな理念として掲げ、これに基づく新カリキュラムをスタートさせます。この新カリキュラムは、デジタル技術による設計開発プロセスを学ぶ「リアルモノづくり教育」と「資格取得」が柱となっており、これらの学びを通じて専門力を身に着け、地域の産業発展に貢献できる人材を育成します。

なお、新カリキュラムの開始に伴い、これまでのコース制（機械システムコース、自動車システムコース）は廃止となります。

●新カリキュラムの特徴

☆充実した座学（講義）と実習

旧カリキュラムを大幅に見直し、必要とされる科目については新たに設置し、大きな内容変更を行った科目については名称を変更するなど、次世代の機械技術者に必要な基礎知識及び技術を学ぶためのカリキュラムとなっています。実習においても 1 年次から行うなど、必要とするスキルが身に着くような構成となっています。



☆『リアルモノづくり』の推進（デジタル化（CAD/CAM/CAE 教育）の推進）

『リアルモノづくり』とは、ここでは「デジタル技術による機械設計・解析、試作、実験評価のようにデジタル技術から実機の製作までの一連の設計開発プロセス」のことを指します。新カリキュラムでは、関連した科目として計 9 科目を設置、特に CAD/CAM/CAE（コンピュータ支援による設計/製造[造形]/解析技術）科目が充実した内容となっています。



☆充実した資格取得支援

本学科では、機械設計技術者試験、2 次元及び CAD 利用技術者試験の資格取得を支援するため、各試験における試験対策をカリキュラムの中に取り入れています。学生の志向に応じ、スキル系から設計系まで対応した内容となっています。



●目指す資格

機械設計技術者 3 級、高等学校教諭一種免許状（工業）（※）、FE(Fundamental of Engineer)、技術士補、CAD 利用技術者、二級ボイラー技士、公害防止管理者など
他、在学中に取得できるものや、卒業後、学修した内容が役立つ資格があります。

●目指す進路

機械系製造業（一般機械、精密機械、輸送用機械、電気・情報通信機械など）、鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業、電気・情報通信機械製造業、機械・自動車販売・メンテナンス業、高校教員（工業）、公務員、大学院進学 等